

母子の健康月間 リソースのご案内 (Maternal and Child Health Month)

< RI ページ >

➤ 母子の健康

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

➤ ロータリーショーケース

ロータリーショーケースでは、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。世界中のロータリー会員による関連分野のプロジェクトを検索してみましょう。

➤ ロータリー行動グループ

ロータリー行動グループは、クラブが地域社会を強化するための持続可能かつ効果的な奉仕プロジェクトを立案するのを支援します。プロジェクトの計画と実施に関してクラブに助言を与え、パートナーや資金、リソースを探す手助けをしてくれます。

➤ ロータリー財団の専門家グループ

ロータリー財団専門家グループ (Cadre) とは、ロータリー財団のグローバル補助金とプロジェクトのインパクト強化を支援するロータリー会員のネットワークです。ロータリーの[重点分野](#)や財務監査における専門知識とスキルを生かし、プロジェクトの立案や補助金の申請で会員を支援します。

➤ パートナー

より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。このページではロータリーのパートナーとなっている団体を紹介しています。

< ラーニングセンター >

本月間に関連するコースもございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

< 各種資料 > 印刷物の販売、取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。



➤ 重点分野のアイコン

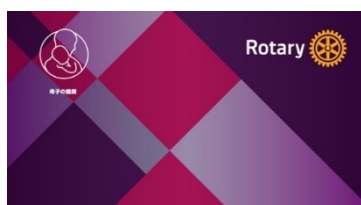
重点分野のアイコンの使用方法をご確認いただけます。

アイコンは[ダウンロード](#)からご利用いただけます。



➤ ロータリーの重点分野

各重点分野のプロジェクト計画に関するヒントをご紹介します。



➤ 母子の健康：バーチャル会議用の背景（（重点分野バージョン）

Zoom などのビデオ会議でバーチャル背景としてご利用いただけます。

💡 当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

➤ [重点分野の基本方針](#)

➤ [「母子の健康」グローバル補助金 授与のガイドライン](#)

< ウェブ特集記事 >

➤ 母子の保健に焦点を置いたジュネーブでのイベント

10 月 21～22 日、スイスのジュネーブで、"World Polio Day 2022 and Beyond: A healthier future for mothers and children"（2022 年世界ポリオデーとその後：母子のより健康な未来）と題されたイベントが、バーチャル形式と現地の会場で開催されます。このイベントでは、ポリオ根絶活動の現状を紹介するとともに、予防接種にとどまらず、母子の健康を増進するための地域社会に根ざしたソリューションの可能性について議論します。

（2022 年 10 月、Rotary ニュース・特集記事ページより）

➤ 祖国のマラリア根絶が私の使命

マラリアについて最もやるせなさを感じるのは、予防できたはずの病気で家族たちが苦しんでいることです。子や親を亡くし、仕事や経済的安定を失うことは、悲惨な状況をもたらす可能性があります。

（2022 年 4 月、ロータリーボイスより）

➤ 母親が自分を大切にできるように ... ある助産師の体験談

栄養失調、不十分な医療、不衛生などが原因で、毎年推定 590 万人の 5 歳未満の子どもたちが亡くなっています。これらの死はすべて防ぐことができ、ロータリーでは妊産婦への教育、予防接種、出産キットの提供、移動診療所の実施などに力を入れています。これらとは別に、助産師は女性のエンパワメントにとって重要なリソースとなります。

(2021 年 11 月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

➤ 出産ケアの改善で妊産婦と赤ちゃんを守る

ニュージーランドで出産教育に携わっていた助産師ジュリー・ドックリルさんは、「安全な出産についてモンゴルの医療従事者を指導してほしい」という依頼をワイマテ・ロータリークラブ（ニュージーランド）から受け、「たった一人でも命を救えるのなら」と活動への参加を承諾しました。

(2021 年 5 月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

➤ 移動手段を提供して母子をサポート

ウガンダ政府は 3 月、コロナウイルスの感染者数が 12 件に満たない頃から、厳しいロックダウンや学校閉鎖を実施して迅速に対応しましたが、失業や移動制限のせいで妊娠中の女性が病院に行けないといった問題が生じました。カンパラにあるルバガ・ロータリークラブはこの報告を聞き、救急車を 1 台寄贈しました。

(2021 年 3 月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

➤ ポリオ根絶 次はパキスタン

2019 年 12 月、パキスタン の NIDs（全国予防接種日）に 2 日間参加した、「チームポリオジャパン」の 13 人が、現地のロータリアンから「2020 年の発症を 0 にする」という意気込みを聞いたばかりでした。野生株ポリオ発症数が三桁になっている理由、現地での活動および、現状について、岡山南ロータリークラブの大和 豊子様が寄稿された記事をご紹介します。

(2020 年 2 月、ロータリーボイスより)

➤ 安全な出産でホンジュラスの母子を守る

相模原橋本ロータリークラブが現地のダンリロータリークラブ、岡山県に本部を置く非営利法人 AMDA 社会開発機構（AMDA-MINDS）と協力して、ロータリー財団のグローバル補助金 110,000 ドル（約 1,200 万円）を活用した、新生児と妊産婦死亡率の改善を目的とする「El Paraiso Safe Childbirth Project（エル・パライスでの安全な出産プロジェクト）」を実施しました。

(2019 年 2 月、ロータリーボイスより)

➤ ボリビアでの水頭症プロジェクト

「水頭症」とは、子供の場合は頭の肥大、大人の場合は想像を絶する頭痛を伴う病気です。今から 20 年ほど前、ボリビアの RTP テレビ局が水頭症患者救済キャンペーンを大々的に行いましたが、残念ながら、結果は好ましくなく悲惨なものでした。

(2018 年 8 月、ロータリーボイスより)

➤ 日本の姉妹都市との絆、ブラジルの新生児を救う

病院の新生児集中治療室には保育器が 7 台しかなく、満員になると赤ちゃんを別の病院に搬送する必要があります。命をつなぎとめたとしても、両親は数カ月も長距離の病院通いを余儀なくされます。

(2017 年 8 月、RI ページより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ Rotary Voice ページ（日本語）は» [こちら](#)

< 映像資料 >

➤ 「ゼロ投与」の子どもたち

5 歳まで生きる子どもは、成人となる可能性が 2 倍となります。この理由からロータリーとパートナー団体は 40 年もの間、世界中にワクチンを届けてきました。この活動により、予防可能な疾病からすべての子どもが守られ、健康な成長が促されます。

[日本語字幕、30 秒]

➤ Rotary Supports Mothers and Babies

母子と健康はロータリーの重点分野の一つです。ロータリー会員は母親へのサポートを通じて新生児の死亡率を低減するよう活動をしています。

[日本語字幕、1 分 35 秒]

➤ モンゴルでの出産教育で命を守る

助産師・出産教育者であるジュリー・ドックリルさんは、モンゴルでの妊産婦の健康のために経験学習アプローチを用いています。これにより、モンゴルの妊産婦と赤ちゃんの死亡率と疾病率が 40～60%低下しました。

[日本語字幕、2 分 36 秒]

～ RI コンテンツのご利用にあたり ～

■ 国際ロータリーのウェブサイトの利用規約は» [こちら](#)